

今月の表紙  
もちつき  
ぺったんぺったん



12月14日(金)市内の小鳩の家保育園で毎年恒例の「餅つき大会」がありました。この餅つき大会は、田植え、稲刈りを指導している「武友会＝農家のお兄さん達」と園児が一緒になって、今年とれたもち米をキネとウスを使ってお餅にしました。出来たお餅は、来年みんなでいただきます。また、だご汁や焼き芋を準備し給食でいただきました。

Contents

新年の挨拶 ほか	…… 2～ 3
TAIZO+TAKEO展	…… 4～ 5
人事行政の運営状況	…… 6～ 9
水道料金の改定	……10～11
後期高齢者医療	……12～13
くらしのカレンダー	……14～15
市の木・市の花	……16
感想文感想画コンクール	……17
食育セミナー	……18
農業委員会だより	……19
お誕生おめでとう	……20
まちのわだい	……21
市長物語	……22
男女共同参画	……23
保健連絡協議会だより	……24
スポーツ	……25
インフォメーション	……26～27
よかまち武雄をつくる人	……28

# 元気な武雄市を目指して

武雄市長 樋渡 啓祐

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

## 昨年のごこと

昨年は、水道料金の大幅な引き下げ、下水道等の料金設定に一定の目途をつけたこと、そして、武雄商工会議所や市議会のご尽力により新幹線西九州ルートが実現に向けて大きな一歩を踏み出したことなど、市民生活の維持向上に向けて諸課題を一つ一つ解決をした、いわゆる「内政」に重心を

置いた年でありました。

中島宏先生の間人国宝認定や山内町出身の佐賀北のEース・久保貴大君の球史に残る大活躍はまだ記憶に新しいところです。さらに、高校総体や市民活動等で、多くの市民の皆さんがさまざまなニュースや新聞に登場していただきました。昨年の秋に開催したTAIZO+TAKEO展に関しては、市内外から関連イベントを含めて6万人

の皆様にお越しいただきました。

トップセールスの必要で東京や大阪に向くときには、「武雄市民はずいね」という声を多くかけていただきましたが、その結果として、例えば、前年同月比(11月)で観光客が16%増加しています。市民の皆さんの後押しのおかげであると深く感謝しております。

引き続き、私は市民皆さんのお声に真摯に耳を傾けながら、昨年に引き続き、内政に軸足を置いて、各種政策を実行してまいります。

## 今年のごこと

本年の武雄市にとって、重要課題は、まず、武雄市民病院の在り方です。市民病院の在り方については、市民医療福祉の維持向上と行政改革の観点から、その設置形態(独立行政法人化又は民間移譲)を、議会とよく相談をしながら検討を進めてまいります。

その他、大きな課題は多々ありますが、一つ一つ腰を据えて、着実に解決を図ってまいりたいと考えております。

## ぬくもりのある

元気な武雄市に向けて  
終わりになりますが、今年の3月1日で、旧武雄市、

# 夢と希望の持てるまちへ

武雄市議会議長 杉原 豊喜

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり議会を代表してご挨拶申し上げます。皆様には、ご家族お揃いでご壮健にて輝かしい新年をお迎えのことと拝察し、お慶びを申し上げます。一市二町が合併して早二年になろうとしております。武雄市議会といたしまして市民皆様方のご理解とご

支援をいただき、安全で安心して住み続けることの出来る新市建設に努めてきたつもりでございますが、皆様のご期待にそえる効果もまだの感があると思っております。全市に目配りをして合併協議会などの確認事項等を十分活かしながら、住みよい地域づくり、活力あるまちづくりを努力して参る所存でございますので、どう

か本年も昨年に倍しまして、よろしくお願い申し上げます。

さて、今年の2月にはJR武雄温泉駅を挟む東西3キロ区間の鉄道高架事業で線路の高架化と新駅舎の一部が開通することになっております。これによりまして踏切8ヶ所がなくなり、線路の南側と北側の往来がスムーズになり、交通渋滞の緩和がなされることと思っております。また、九州新幹線西九州ルート着工の弾みになることを期待しているところでございます。

今、国や地方の自治体は、

少子高齢化社会の急速な進展や財政難など、かつてない厳しい状況の中にあります。このようなことを受け、国としても「三位一体の改革」や「地方に出来ることは地方で」「民間に出来ることは民間で」などといった地方分権を強く打ち出されておりますが、交付金などの削減で地方の厳しい状況は強まるばかりであります。しかし住民の皆様方が安心して住み暮らせる地域づくりなどに必要な事業には地方交付税は欠かせないものでもあります。こういった危機感から国へ地方交

付税の復元を強く求めているところでもあります。我々武雄市議会も、皆様のより身近な議決機関としての自覚と責任のもと、執行部と議論を重ね、市民の皆様と知恵を出し合い、活力ある「武雄市」を築いて行かなければならないと思っております。今後とも皆様方の一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。夢と希望の持てるすばらしいまちになりますことと、市民各位のご健勝と御多幸を心より祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

中島宏氏 名誉市民顕彰式  
平成19年度 武雄市表彰式

